

ウインターカップ2020

令和2年度 第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岡山県予選会

日時	2020年11月8日	10:00	女子	決勝
会場名	笠岡総合体育館			Mコート 第①試合
● 就 実 60 { 8 - 21 12 - 23 18 - 19 22 - 15 } 78 倉敷翠松 ○				

審判名	クルーチーフ	岩田友幸					1stアンパイア	岸本祥也	2ndアンパイア		大嶋将之		
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
古川 裕理	4	2			2		中尾 心咲(C)*	4	12	1	3	3	1
川崎 莉緒 *	5	15		7	1		土家 麻愛	5	0				
佐藤 愛莉	6	-					瀬戸川 小春	6	-				
島田 光理 *	7	26	2	7	6	4	産賀 菜名 *	7	7	1	2		3
長尾 優里依(C)*	8	8		4		3	下橋 永奈	8	0				
東 小梅	9	0				1	山本 明依	9	0				
水田 莉央	10	-					妹尾 樹里 *	10	17	3	4		2
前田 梨理菜	11	-					野瀬 紗奈	11	0				
藤本 羽衣香	12	-					吉田 亜子	12	-				
大町 亜未	13	-					菅野 亜梨珠	13	-				
川崎 真子 *	14	0				2	土家 梨愛	14	-				
井上 日湖 *	15	9	1	2	2	4	アイビトウ グレース*	15	35		15	5	2
千種 るか	16	-					平野 愛 *	16	7		3	1	2
芳賀 心優	17	-					上村 菜緒	17	-				
田中 優羽	18	-					荒木 若菜	18	0				2
合計		60	3	20	11	14	合計		78	5	27	9	12

戦評

決勝は順当に勝ち上がった就実と倉敷翠松両チームの対戦となった。

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスで試合スタート。翠松⑮のリバウンドシュートで翠松が先制する。就実⑦⑤も積極的に攻めるがシュートが入らず、翠松⑩が立て続けに2P、3P決め、開始2分就実0-7翠松とリードする。就実はドライブでシュートを狙うが入らず、5分経過したところで就実2-10翠松となり翠松タイムアウト。タイムアウト明け直後、翠松は⑩⑬の2Pでさらにリードを広げる。就実も果敢に攻めるがシュートが入らず、苦しい展開となる。翠松は⑮の長身を生かし、インサイドを中心とした攻めで得点を重ねる。就実も⑤⑦を中心に攻めるが、就実8-21翠松で1Q終了

2Q 就実ボールでスタート。開始早々翠松は⑮のジャンプシュートで勢いに乗る。就実⑦を中心にオフェンスを組み立てるが、翠松の固い守りに苦しむ。翠松は再び⑮を中心にインサイドを攻め、点数を重ねる。残り3分、就実14-34翠松となり、就実タイムアウト。流れを変えたい就実は、⑤⑦⑧のドライブから点数を狙うが、シュートが入らず流れを変えられない。残り1分、就実⑦が意地の3Pを決めるが、翠松④も3Pを決め返し、就実20-44翠松と翠松リードで前半終了。

3Q 翠松ボールでゲーム再開。後半もマンツーマンディフェンスでスタート。就実は⑦の3Pで幸先よく得点する。翠松は⑦がシュートを決め返す。翠松⑦から④への鋭いパスや⑮のゴール下などで翠松は着実に得点を重ねていく。就実は3分が経過したところで後半1回目のタイムアウトを取って流れを変えようとする。タイムアウト後、就実は⑧や⑦のドライブで攻勢を試みる。中盤、ハーフコートのディフェンスを2-3ゾーンに変え翠松のミス誘う。しかし、翠松は⑮、⑯を起点にオフェンスを展開し、ゴール下を着実に決めていく。終盤、就実⑦が連続してジャンプシュートを決めて食らいつぐが、翠松のディフェンスに阻まれ、就実38-63翠松で3Q終了。

4Q 開始早々、翠松⑮がファウルで得たフリースローを確実に2本決める。翠松⑮はさらにゴール下のリバウンドからのシュートやフリースローなどで得点を重ね、就実を突き放しにかかる。就実は⑤のスティールからのレイアップや⑧のドライブで何とか突破口を見出そうとする。しかし、翠松⑮の高いリバウンドに、就実は苦しい展開を強いられる。就実は④、⑤を中心にオフェンスを試みるが、なかなか得点につながらず我慢の展開。残り2分を切って就実のオールコートディフェンスに翠松がミスにより失点を重ねるが、翠松がリードを守り切り就実60-78翠松で勝利をつかみ、8年ぶり16回目のウインターカップ出場を決めた。

